



発行：公明党千葉市議会議員団 森山和博／千葉市中央区千葉港 3-30-204

11月25日から
12月12日まで

令和7年・第4回定例会が開催されました。

観光振興について

本市は、海辺エリアをブルー、里山エリアをグリーンとイメージカラーを持ち、さらに加曽利貝塚、オオガハス、千葉氏、海辺という4つの都市アイデンティティーを有しています。



これらの強みを最大限に活かし、国内外からの観光客を誘致し、魅力ある都市として発展させるための更なる観光振興の戦略が必要と考えています。

Q1 観光振興の全体像について伺います。

市長は、千葉市の観光振興をどのように位置づけ、どのような目標を掲げているのか。具体的な観光振興戦略やロードマップを策定すべきと考えますがいかがでしょうか。今後の観光振興の展望について、市長の熱意と決意を合わせ、見解をお聞かせください。

A 千葉市では、令和5年3月に策定した「千葉市経済成長・雇用創出ビジョン」において、「地域特性を活かした観光資源の魅力向上とMICE推進」という戦略を掲げ、「本市の特性を活かした観光コンテンツの造成と魅力発信」および「多様な開催形態への対応によるMICE推進と都市ブランドの向上」の2つを取り組み方針として定め、様々な観光施策を進めてきました。そのような中、令和6年10月に千葉県が宿泊税の導入を表明したことから、「千葉市観光振興検討会議」を設置し、本市の観光課題や取り組みの方向性などについて意見をいただいているところです。

既に17の自治体で導入している宿泊税の活用は、本市が持続的な観光振興を行うための有効な手段であり、本市の魅力をより一層引き出すことが期待できるものと考えています。

そこで、本市における宿泊税導入の可否を検討し、先のビジョンに掲げた取り組みを一層推進していくため、今後、本市の歴史や自然、都市文化の魅力を一層際立たせ、観光産業に従事する人材の育成などを通じ、宿泊や消費を最大化していく観光振興に係る取り組み方針を策定することとしています。

観光産業は、本市経済に大きな波及効果が期待できるため重要な分野であり、財政にも寄与するものであることから、本市における課題を踏まえた観光施策が効果的に展開できるよう、十分に検討してまいります。



Q2 次に、各エリアの魅力創出とエリア連携について伺います。

Q まず、海辺エリアについて、千葉みなとエリアから稲毛の浜、検見川の浜、幕張の浜と、これら臨海部の連携について、これまでの取り組みと今後の展望を伺います。

A 海辺の歴史やイベント情報を本市の「海辺ポータルサイト」にて発信するとともに、千葉市観光協会ホームページの「千葉とおき海辺エリア」において周辺の観光スポットや宿泊施設について情報を発信してきました。今後は、千葉みなと活性化協議会をはじめ、各海辺でイベントを定期的に行っている団体と、海辺エリアの情報共有を強化していくとともに、それぞれの観光資源の磨き上げと見せ方をより一層工夫していくことで、更なる海辺の回遊増加に取り組んでまいります。

A 若葉区・緑区の自然・歴史・文化などの観光資源を地域の魅力として活用するため、令和2年度に当エリアを「**チバノサト**」と名付けるとともに、エリア内の観光農園や直売所、キャンプ場などを掲載したマップや周遊カードを作成し、デジタルスタンプラリーを実施するなど、エリア内の周遊性を向上させるプロモーションを行っています。今後は、「**チバノサト**」に隣接する他市の観光スポットやイベントなどとも広域的に連携を深めることにより、市外からの集客や本市都市部から「**チバノサト**」へと人の流れを促すプロモーションを展開してまいります。



A 現在、千葉うみさとラインとして花見川等を軸に、地域を「自然と暮らしが融合する大きな遊び場」と見立て、民間や近隣市と連携し、四季を感じる魅力的な取り組みを発信していくブランディング活動を行っています。

今後も、各エリアの特性を活かしつつ、両方のエリアへと人が流れ、滞在時間や宿泊客数が増加するよう、市内観光の周遊策の強化に取り組んでまいります。



千葉市議会議員

森山かずひろ

Tel.043-245-5483 Fax.043-245-5584
<https://moriyama-kazuhiro.com/>